

学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.7 平成27年12月1日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

○10月13日(火) 15:55~17:25 会場:西高家庭科総合実習室

2学年医療職志望生徒対象 医療講演会(新潟大学出前講義)

講師:新潟大学 医学部保健学科 看護学専攻 准教授 齋藤智子先生

演題:【看護学】「健康づくりと在宅における看護」



今回は、医療専攻の生徒以外で看護医療職を目指す生徒との合同授業でした。

毎年、新潟大学の先生方が講義体験を西高で実施してくださっています。今回は、人文・法・経済・教育・理・工・農・医(保)学部から、8講座が開講されました。

【テーマ】

看護で地域を健康にする!

看護ってなに?・・・Nursing:語源はnourish(育て養う)

看護を学ぶために・・・人間のからだの理解・病気と回復・社会保障制度と生活者の健康理解

看護職の活躍の場・・・病院・診療所・福祉施設・訪問看護ステーション・学校・企業etc.

気になる健康問題・・・虐待・在宅介護・認知症・感染症・がんetc.の増加

地域での保健師の活動例・・・家庭訪問・地区組織の育成・地域での診断・健康相談etc.

子育て支援の例・・・「ふたごの母の会」・「先輩・後輩ママのグループ」

公衆衛生看護活動の展開プロセス・・・Plan→Do→Check→Act→Plan・・・

「自宅で生活する難病患者の家族」への支援

難病患者・家族の心理

保健師の役割・・・「地域に暮らす人々が、安心して自分らしく生きることを支える。」

①人々に直接関わり支援すること。②その人の生活を支える人々を結びつけること。

③必要なサービスや制度を作ること。

【VTR視聴】「難病を患い在宅療養する家族の生活」

療養者・家族の生活や気持ちを考える

療養者・家族が在宅で生活することの意味を考える

在宅介護について考える

ALS(筋萎縮性側索硬化症)についての解説

○11月12日(木) 15:10~17:10 会場:西高社会科教室
2学年医療専攻対象 医療講演会 テーマ:「難病について」 15名受講

講師:小池亮子先生(西新潟中央病院神経内科 医師)・患者様からの講演

「NPO法人新潟難病支援ネットワーク」の6名の皆様からの出張授業でした。

「医師1名・看護師2名・患者様2名・事務局1名」という構成で、同時に様々な立場の方のお話を聞く貴重な機会となりました。



講師の小池亮子先生



看護師さんからの講師紹介



患者様からの講話



質疑応答

*** 生徒の感想 ***

- 「医療従事者は病名だけで判断せずに患者の“今”を知り様々なことを判断すべきだ。」とお聞きして、将来看護師を目指していく私も、病名だけで判断したり、偏見を持ったりしないように心がけようと思いました。
(2年男子生徒・看護師志望)
- 今回は難病についてだけではなく、患者さんが感じている事を生で聞くことができたので、いつもとは少し違う感じの講演会でした。私の周りには病気の人がないし、私自身も病気を経験したことがないので、患者さんは辛いときに看護師さんにどのようなことをしてもらったら嬉しいのかということを知ることができてためになりました。“この病気は、こういう症状だから”という先入観ではなく、患者さんの“今の気持ち”に気を留めて、少しでも不安を軽くしてあげられる看護師になりたいな、と思いました。
(2年女子生徒・看護師志望)
- 今回の講演会では、「全身性エリトマトーデス」の患者さんに直接お話を聞くことができ、とても勉強になりました。家族や友人に病気を告白したことで、周りが支えてくれ、そのおかげで自分らしく生活できるようになったということをお聞きして、自分の家族がもし難病にかかってしまったら、治療ができないかわりに精神的な面での支援をしたいと思ったし、そのような看護師に将来なりたいと思いました。また、難病はドラマなどで病名を知っているくらいだったので、どのような症状なのか、進行の様子などを知ることができて勉強になりました。
(2年女子生徒・看護師志望)
- 難病は、5000~7000種類あり、指定難病だけでも306疾患あるということに驚きました。全国で約10人しかいない病気もあれば、約13万人の患者がいる病気もあり、幅広さに驚きました。
(2年女子生徒・看護師志望)